

# 第1回

## 別府市立図書館及び別府市美術館整備 基本構想検討委員会



平成28年9月23日（金）

13:30～

別府市役所4階 4F-3会議室

別府市教育委員会

## 【第1回】

### 別府市立図書館及び別府市美術館整備基本構想検討委員会

平成28年9月23日（金）  
13時30分から  
別府市役所4F3会議室

「別府市立図書館及び別府市美術館整備基本構想検討委員会」  
委員委嘱状交付

教育長あいさつ

#### 【議 事】

- 1 委員会委員長及び副委員長の選出
- 2 委員会の目的及び委員会の進め方について【説明・審議】
- 3 図書館・美術館の現状と課題について【報告】
- 4 各委員より図書館・美術館に対する意見（想い）の発表
- 5 市民ワークショップ実施計画書について【説明・審議】
- 6 今後のスケジュールについて【説明】
- 7 連絡事項

---

## 検討委員会の目的及び委員会の進め方について（説明）

---

### （1）検討委員会の目的

---

#### ■多様な市民の声を取り入れた基本構想の策定

「別府市立図書館及び別府市美術館整備基本構想検討委員会」は、市民公募委員から学識経験者、学校教育関係者、社会教育関係者、学生まで多様なメンバーで構成されています。性別や世代、これまでの経験が異なるそれぞれの立場を尊重し合いながら、意見を集約し、基本構想の策定に結びつけます。

#### ■誰もが平等に意見を交わし合える委員会の開催

検討委員メンバー間、特に一般市民・学生と専門家（学識経験者）の間では、図書館・美術館、まちづくりなどへの知識の専門性に大きな隔たりがあると思われます。そこで、事前に市民公募委員や学生向けの事前講座を開催し、誰もが自身の考えを述べることができる委員会づくりを目指します。講座内では、当日の委員会の議題に関するトピックや背景をわかりやすく説明し、会議への緊張感をやわらげるウォーミングアップにもなり、双方向の意見交換が充分にできるような環境を整備します。

### （2）委員会の進め方

---

#### 1. 事前講座

基本資料をあらかじめ提供し、目を通していただいた上で、委員会の前に短い講座を開催します。その日の委員会の議題を中心に、議論するうえで必要になる知識や背景をご説明します。

#### 2. 進行体制

アカデミック・リソース・ガイド株式会社がファシリテーターを務め、委員長・副委員長も積極的に議論に参加し、発言できる会議進行を実施します。

#### 3. 会議支援

##### a) リアルタイムレファレンス

会議の流れに沿って適宜必要な情報をリアルタイムでウェブ上から見つけ出し、モニターやプロジェクターによって表示します。必要なタイミングに応じて情報を提供することで、より柔軟に発想を広げることができるバックアップを行い、委員間の共通理解を支えます。

b) リアルタイムレコーディング

進行中の議事内容のポイントを記録し、リアルタイムに表示します。視覚的に要点を把握し、核となる議論の「見える化」を実現します。

4. 市民ワークショップとの相互連携

検討委員メンバーは、ぜひ市民ワークショップへのご参加をお願いいたします。より多様に富んだ市民とともにまちを歩き、議論することで、その後の委員会活動に還元できるような新しい別府市の良さや課題が発見できます。検討委員会と市民ワークショップの間に連続性を持たせるよう、相互的な情報共有だけではなく、市民に開けた委員会の実施に努めます。

### (3) 委員会のテーマ設定

---

■別府市図書館・美術館整備基本構想策定に向けて、全5回の構成・テーマを設定します。

- ・第1回テーマ：委員会の委嘱式・想いを共有する
- ・第2回テーマ：「別府の図書館／図書文化」を考える
- ・第3回テーマ：「別府の美術館／芸術文化」を考える
- ・第4回テーマ：融合を考える
  - 「図書館と美術館」 「文化とまち」 「観光と日常」 「公と民」 等—
- ・第5回テーマ：編集する・まとめる



# 図書館・美術館の現状 と課題

—別府市図書館・美術館整備基本構想策定に向けての共通基盤づくりのために  
第1回別府市立図書館及び別府市美術館整備基本構想検討委員会

2016年9月23日（金）

# 全国的な図書館・美術館の現状 －それぞれの設置数

図書館

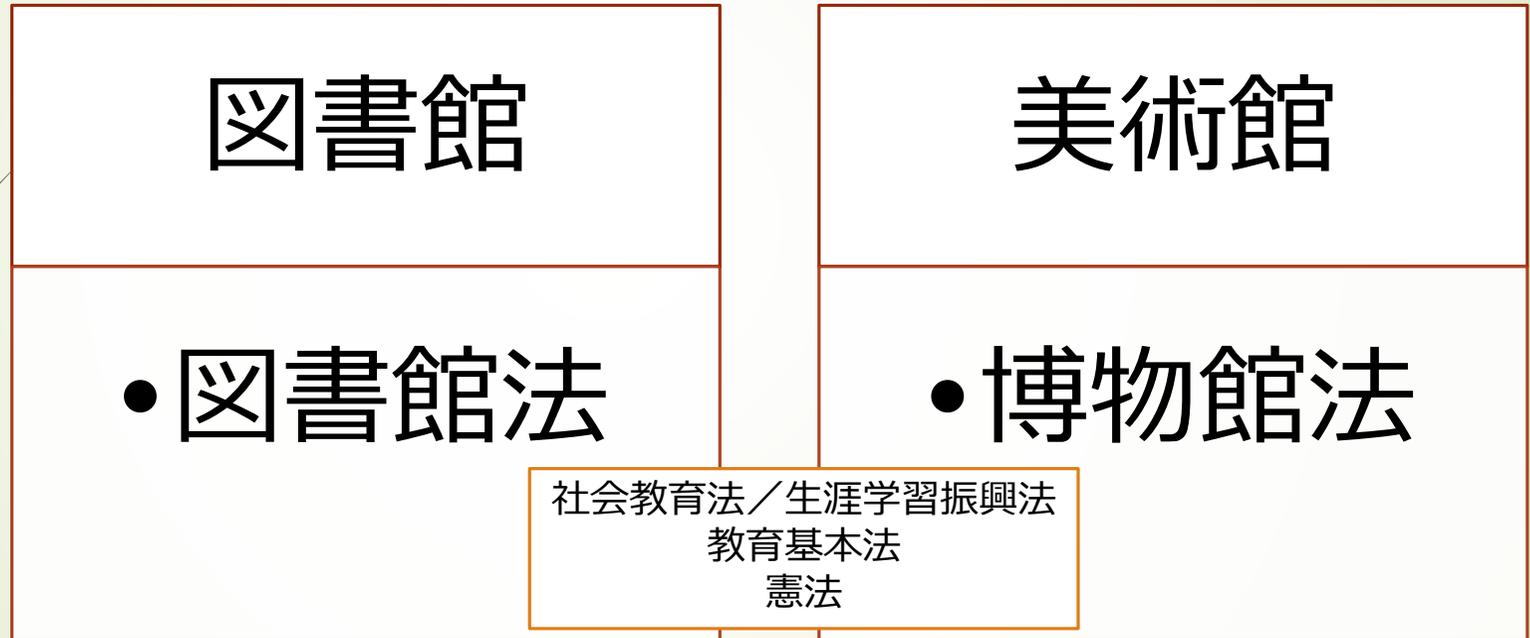
● 3274館

美術館

● 452館

2011年度社会教育調査「設置者別本館・分館別図書館数」「種別博物館数」に基づく  
なお、美術館は博物館法に基づく「登録博物館」に限定

# 図書館・美術館をめぐる法律 －基本法と上位法



# 昨今の図書館・美術館の大動向 －脚光を浴びるその機能

## 図書館

- 一貫した成長
- まちづくりの要

貸本 + αの多角化

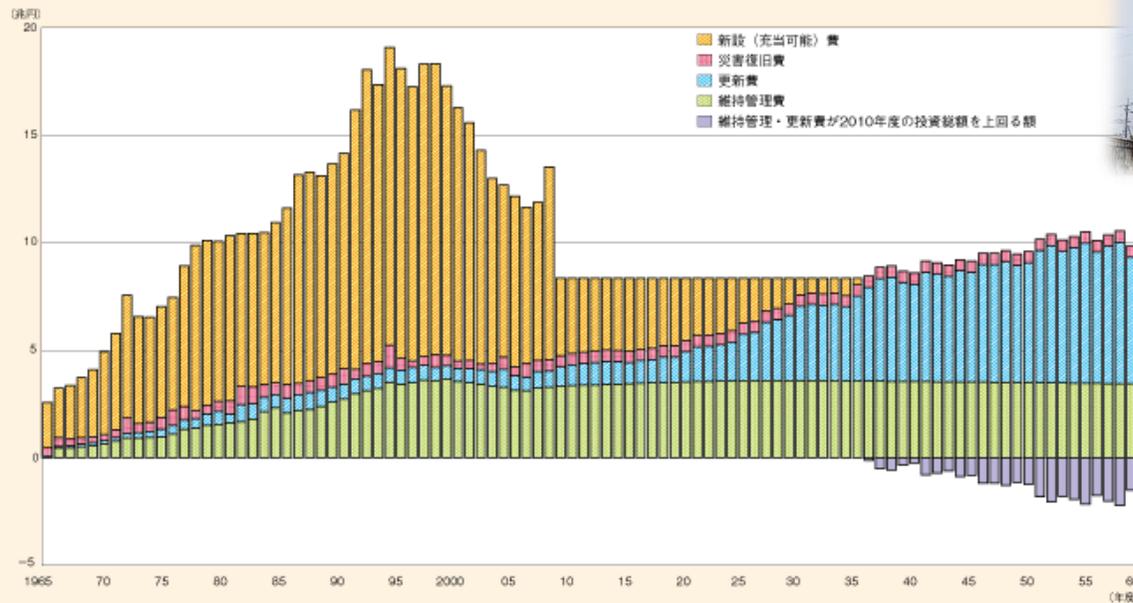
## 美術館

- 利用者の増加
- アートの拡張

鑑賞から体験へ

共通課題としての施設の老朽化  
公共施設全体の問題

# 図書館・美術館の大動向の背景 - 急がれる公共施設再整備



(注) 推計方法について

国土交通省所管の8分野（道路、港湾、空港、公共賃貸住宅、下水道、都市公園、治水、海岸）の直轄・補助・地事事業を対象に、2011年度以降につき次のような設定を行い推計。

- ・更新費は、耐用年数を経過した後、同一機能で更新すると仮定し、当初新設費を基準に更新費の実態を踏まえて設定。耐用年数は、税法上の耐用年数を示す財務省令を基に、それぞれの施設の更新の実態を踏まえて設定。
- ・維持管理費は、社会資本のストック額との相関に基づき推計。  
(なお、更新費・維持管理費は、五年のコスト縮減の取組み実績を反映)
- ・災害復旧費は、過去の年平均値を設定。
- ・新設（充て可）費は、投資総額から維持管理費、更新費、災害復旧費を差し引いた額であり、新設需要を示したものではない。
- ・用地費・補償費を含まない。各高速道路会社等の社法等を含まない。

なお、今後の予算の推移、技術的知見の蓄積等の要因により推計結果は変動しうる。

資料) 国土交通省

複数施設の複合化の流れ

# 図書館・美術館の再整備の潮流 －まちづくりの要衝化と複合・融合化

1. 山口市立中央図書館・山口情報芸術センター（YCAM）（2003年オープン）：  
「ライブラリー×アート」の先駆的な試み
2. TOYAMAキラリ（2015年オープン）：  
▶ まちなかでの図書館・美術館の一体整備
3. 恩納村文化情報センター（2015年オープン）：  
▶ 既存の博物館・道の駅相当施設に近接した「図書館」と「観光情報センター」の整備
4. 太田市美術館・図書館（2016年末プレオープン予定）：  
▶ まちに開かれた一体整備
5. 福智町立図書館・歴史資料館「ふくちのち」（2017年オープン予定）：  
▶ 既存施設のリノベーションによる取り組み

そのほかの事例に、奈義町（岡山県）、四万十町（高知県）、丸亀市（香川県）、坂出市（香川県）、田川市（福岡県）

# 委員会議論にあたっての論点候補 －拠点化と融合化

## 拠点化

- 「別府」のまちなかで、  
施設をどのように  
位置づけるか

## 融合化

- 図書館と美術館が  
どのように機能面で  
融合的になるか

# 一例としてのTOYAMAキラリ - まちなかでの図書館と美術館の融合



キラリ ガラス美術館 ホーム 展覧会情報  
TOYAMA GLASS ART MUSEUM

施設のご案内

6F

展示室 事務室

展示室 事務室

5F

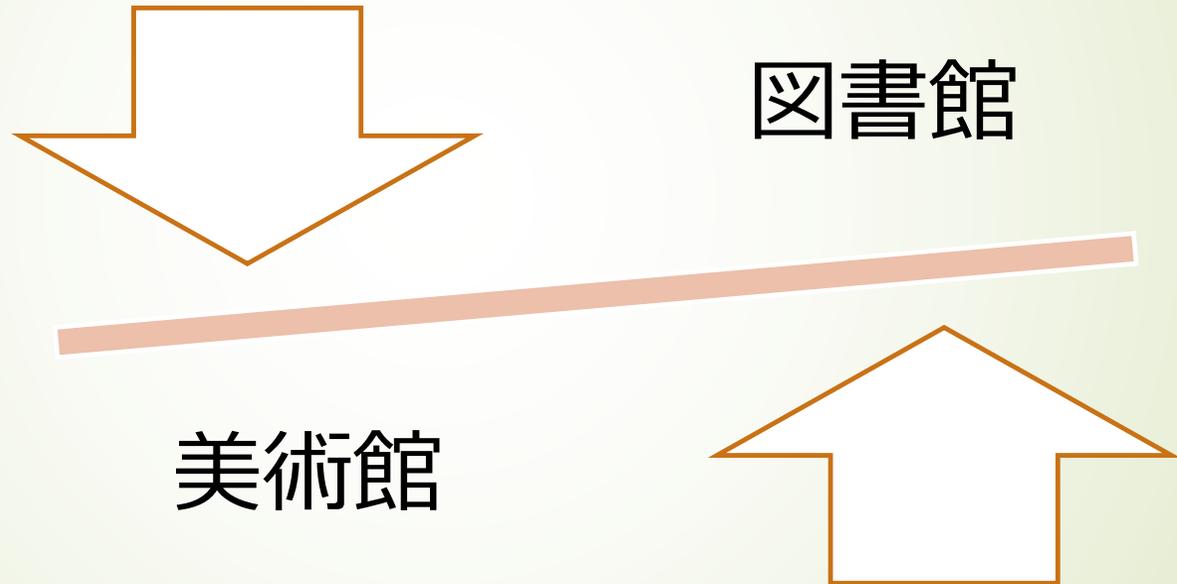
展示室 事務室

展示室 事務室

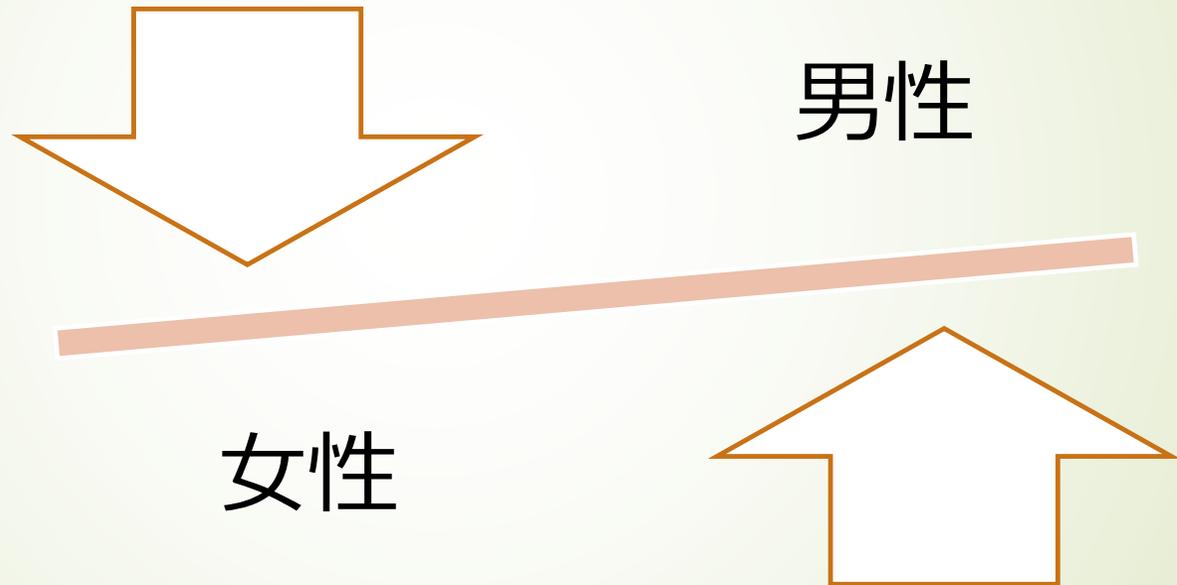
<http://toyama-glass-art-museum.jp/guidance/>



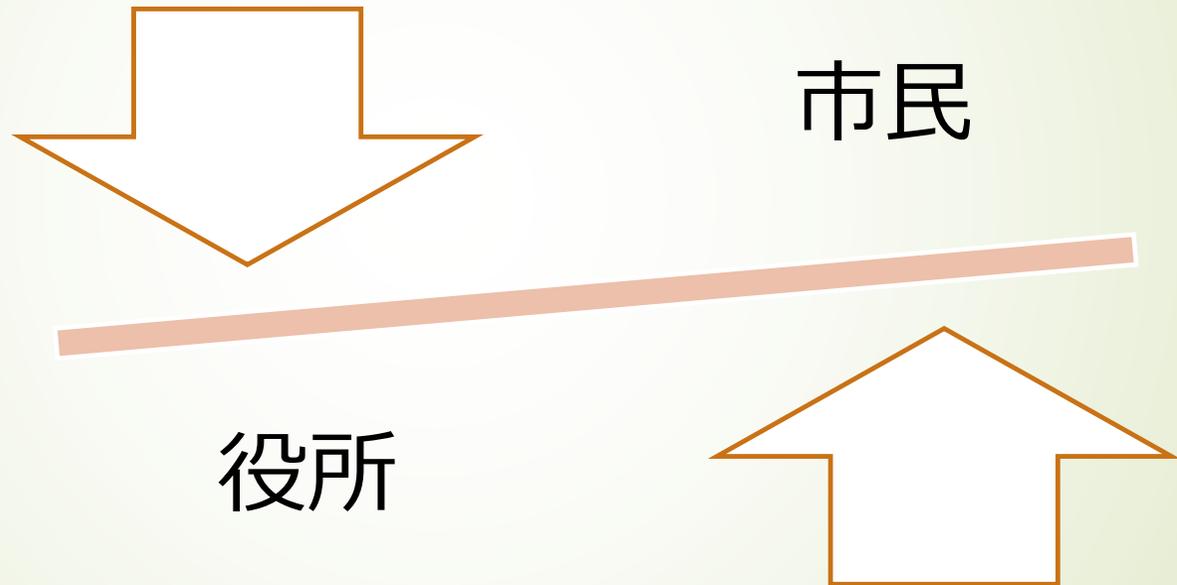
# 委員会議論にあたっての注意点 -ギャップの意識



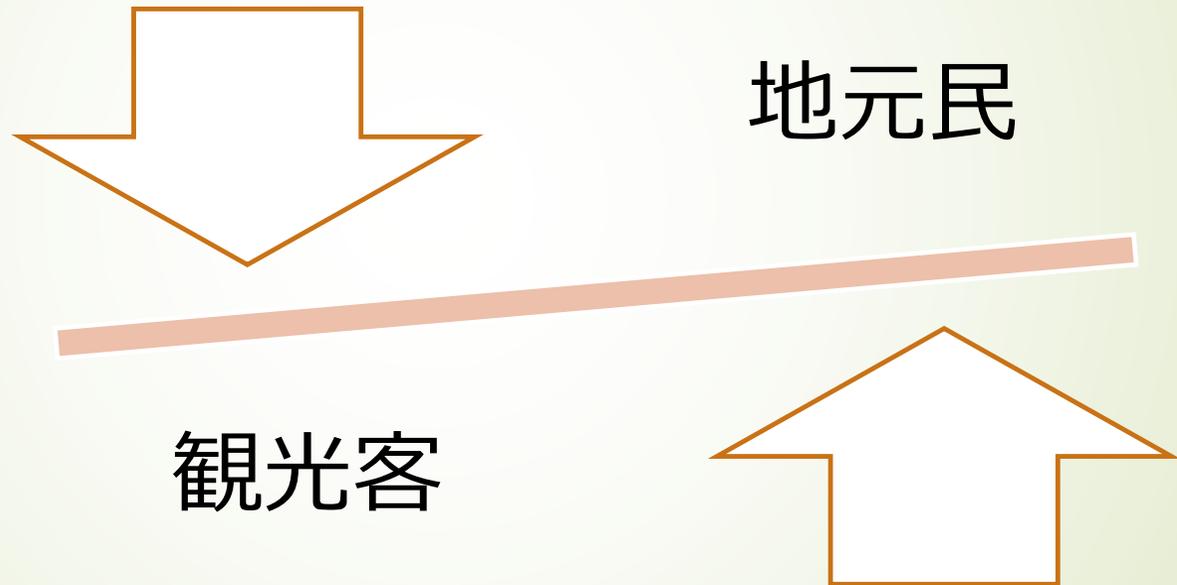
# 委員会議論にあたっての注意点 - ギャップの意識



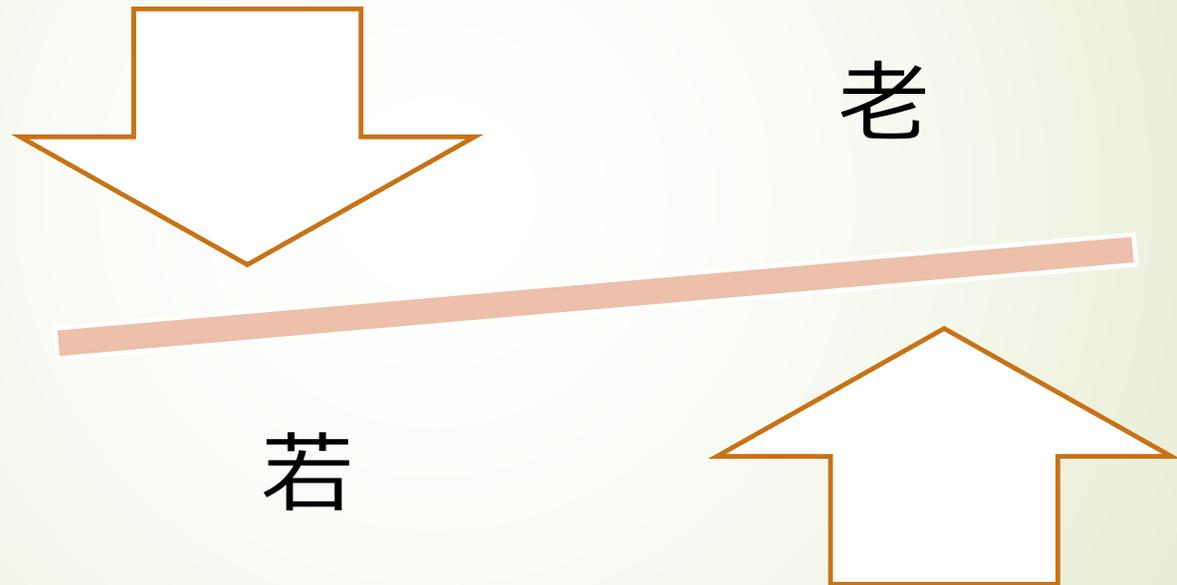
# 委員会議論にあたっての注意点 -ギャップの意識



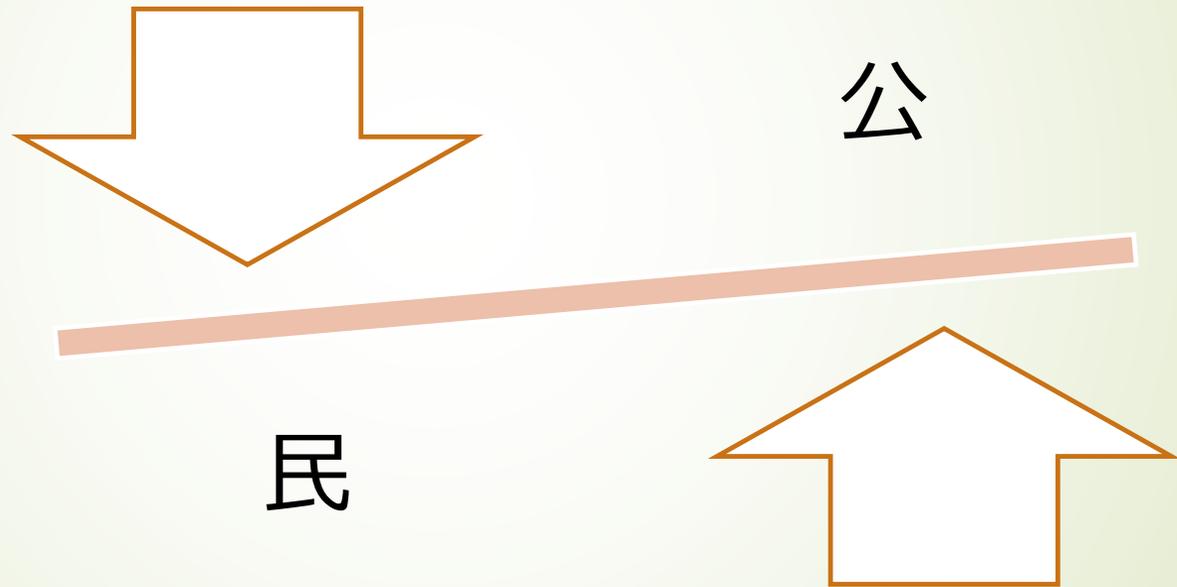
# 委員会議論にあたっての注意点 -ギャップの意識



# 委員会議論にあたっての注意点 - ギャップの意識



# 委員会議論にあたっての注意点 -ギャップの意識



ギャップを超えるために  
- 「わたくしたちごと」という意識

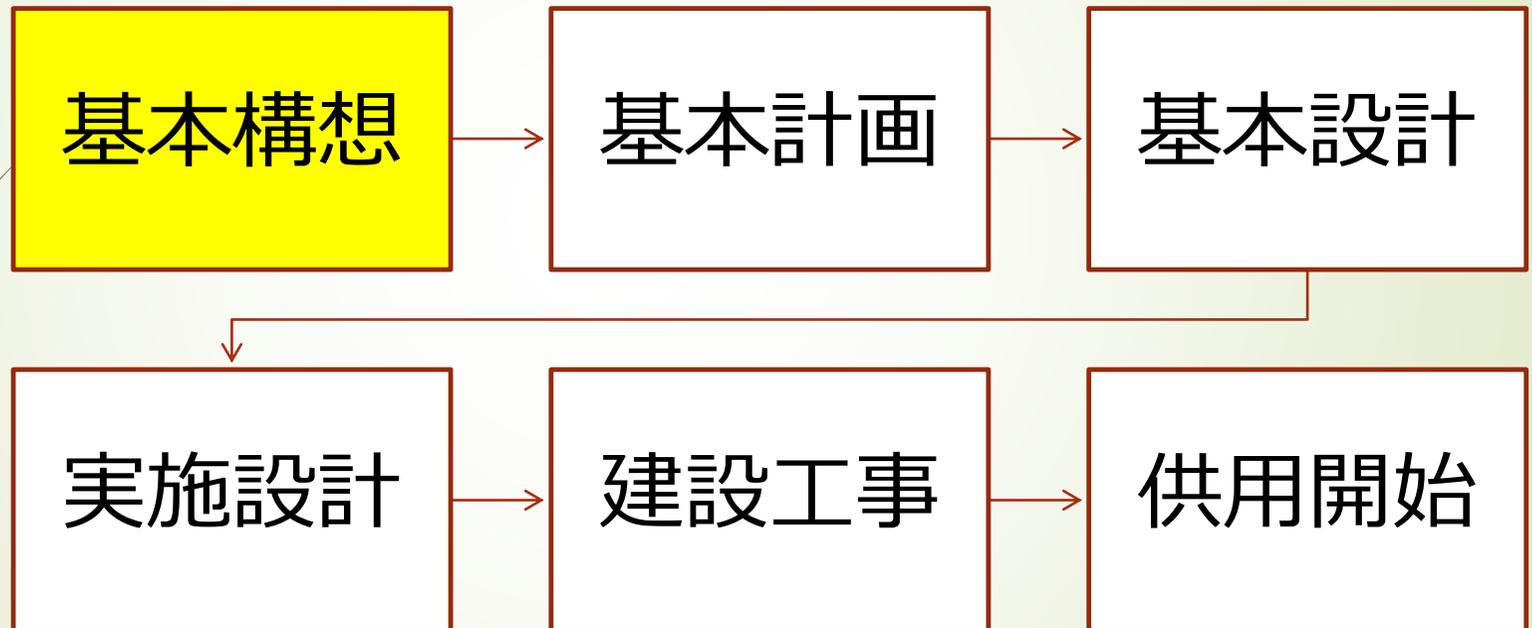
じぶんごと

ひとごと

わたくしたちごと

# 今後の進み方のイメージ

## — 一般論としての施設整備の流れ





# 参考： 構想策定支援業務にあたるARG社の 紹介

- ▶ 公共空間・施設の総合プロデュースを行う横浜の会社です
- ▶ 創業7年、スタッフ数8名の小さな会社です
- ▶ これまで紹介しましたTOYAMAキラリや恩納村文化情報センター等、数々の施設整備に携わってきました
- ▶ 代表を務める岡本は本委員会と同様の各種委員会での委員経験がありますので、みなさまのお気持ちに思いを馳せながら業務にあたっております
- ▶ 気になった点、ご不明な点などがあれば、いつでもお気軽にお訪ねください
- ▶ 委員のみなさんが必要とする情報を届け、ご議論・ご判断のストレスを減らすのが私たちの仕事です

# 参考： ARG社の実施体制図



# 市民ワークショップ実施計画書

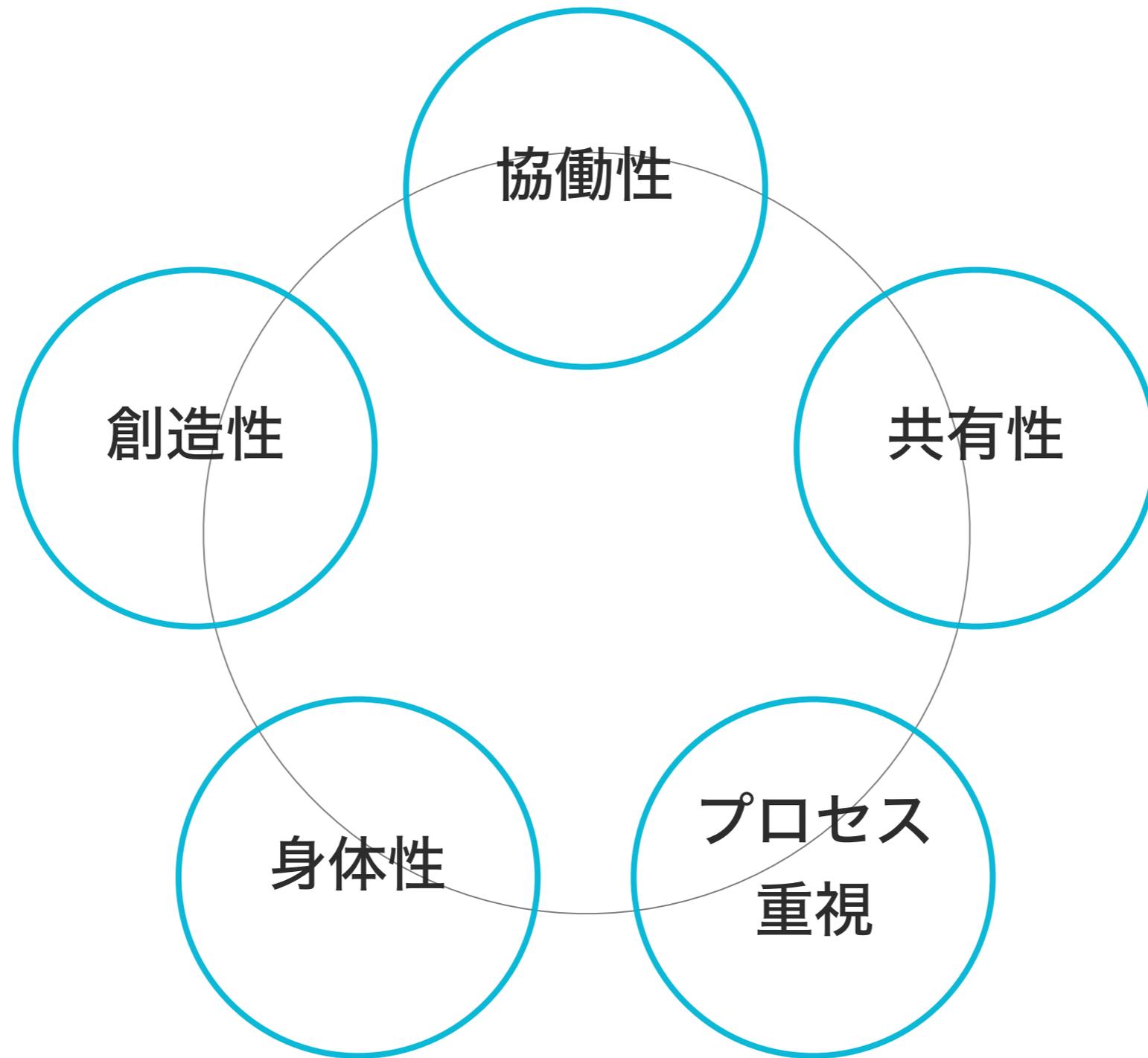
---

2016年9月23日（金）

## ワークショップとは

ワークショップは、ただ一方的に意見を聴く場ではなく、あらかじめ定められた結論の合意の場でもない。**コラボレーション（協働・協同）によってアイデアを創り出す場。**

市民の主体性をはぐくむための手段であり、市民ひとりひとりが施設づくりやまちの運営に、主体として参加するための契機となる。



## 市民ワークショップの位置づけ

1. 別府市での暮らしを生き生きとしたものにするために、まなびの場として、情報発信の場として、創造の場として図書館と美術館はどうつながるべきか、また、施設をどのようにつくり、どのように利用していけばいいのかを**みんなで考え関わり続けていくための契機とする**
2. 市民が主体としてワークショップに参加し、地域の可能性を再発見することで、**新しい図書館と美術館を地域に開いた形で創造していくためのエンジンとなる**

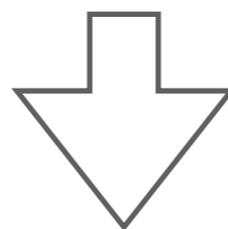
### ①わたくしたちごと化

複数の異なる立場のメンバーが協働で創造的作業に取り組むことで、個別（わたし）の課題ではなく、地域全体（わたくしたち）の課題を抽出することができる

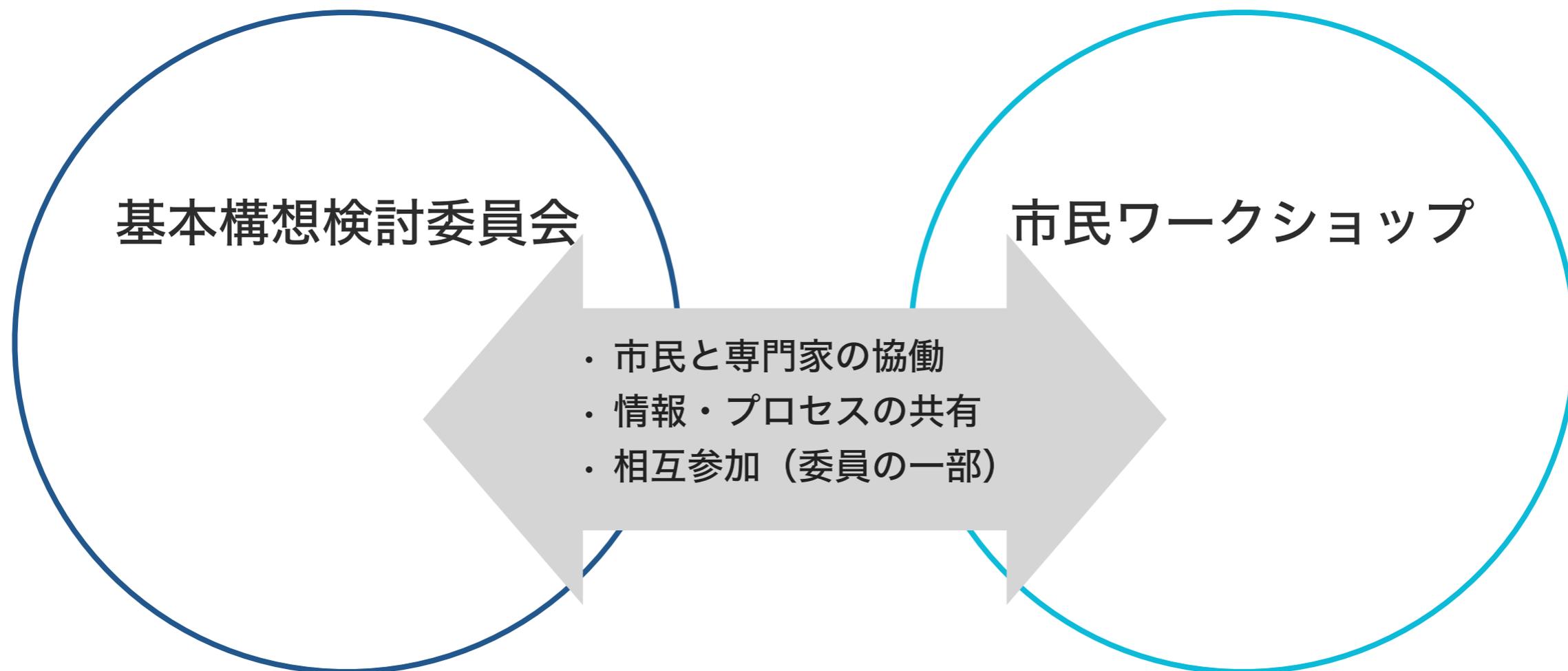


### ②固定観念（思い込み）を揺さぶる

複数の利害関係者が関わる本プロジェクトにおいて、相互コミュニケーションと協働創造の場としてのワークショップに参加することで、それぞれの立場からの固定観念を壊し創造的な解決策が生まれやすくなる



市民がこの相互コミュニケーションと協働創造を体験することで、今回の図書館・美術館づくりが「わたくしたち」ごとであるという意識を持つこと。そして結果として協働的行動や合意形成へとつなげていく。



# 別府のまちから考える わたしたちの図書館・美術館づくりワークショップ



▶ **日程**

第1回：2016年11月27日（日）13:00～16:30

第2回：2016年12月18日（日）13:00～16:30

第3回：2017年 1月22日（日）13:00～16:30

▶ **定員**

30名程度

▶ **対象**

中学生以上（中学生は保護者からの同意書が必要）

▶ **開催場所**

ベース（オリエンテーション、協働作業）：別府市役所

まち歩き：（例）別府市役所・別府公園エリア／別府駅・中心市街地エリア  
／鉄輪温泉エリア

第1部：13:00-13:45  
オリエンテーション

- ・ <全体>レクチャー「近年の図書館・美術館づくりの事例と別府市のプロジェクトについて／前篇」（15分）
- ・ <全体>オリエンテーション「本日のプログラムについて」（15分）
- ・ <チーム単位>歩くエリアを決め、地図をみながら仮コースの設定（15分）

第2部：14:00-15:30  
まち歩き

- ・ <チーム単位>各エリアにわかれてまち歩き  
歩きながら「**まちと本と図書館**」について気づいたことを、話し合いながら、写真に撮ったり、メモやスケッチに残していく（間に休憩を挟む）

第3部：15:45-16:30  
地図に記録する

- ・ <チーム単位>「**まちと本と図書館**」について見てきたこと気づいたことを地図に記録していく
- ・ <チーム単位>地図を編集しながらチーム内で話し合い気づいたことを共有する

第1部：13:00-13:45  
オリエンテーション

- ・ <全体>レクチャー「近年の図書館・美術館づくりの事例と別府市のプロジェクトについて／後篇」（15分）
- ・ <全体>オリエンテーション「本日のプログラムについて」（15分）
- ・ <チーム単位>歩くエリアを決め、地図をみながら仮コースの設定（15分）

第2部：14:00-15:30  
まち歩き

- ・ <チーム単位>各エリアにわかれてまち歩き  
歩きながら「**まちとアートと美術館**」について気づいたことを、話し合いながら、写真に撮ったり、メモやスケッチに残していく（間に休憩を挟む）

第3部：15:45-16:30  
地図に記録する

- ・ <チーム単位>「**まちとアートと美術館**」について見てきたこと気づいたことを地図に記録していく
- ・ <チーム単位>地図を編集しながらチーム内で話し合い気づいたことを共有する

第1部：13:00-13:15  
オリエンテーション

- ・ <全体>オリエンテーション「本日のプログラムについて」（15分）

第2部：13:15-14:45  
ストーリーづくり

- ・ <チーム単位>2つの地図「**まちと本と図書館**」「**まちとアートと美術館**」をみながら、別府市の新しい図書館・美術館から生まれていく多様なストーリーを創造し、ストーリーボードにまとめる（間に休憩を挟む）

第3部：15:00-16:30  
発表・まとめ

- ・ <全体>作成した地図とストーリーボードを使って「**まちと本と図書館**」「**まちとアートと美術館**」をテーマに発表する
- ・ <全体>各チームの発表に対して参加者全員でインタラクティブに意見交換し、最後に委員の方による講評を行う

■市民ワークショップ：参考イメージ



和歌山市民図書館 まちと図書館 ワークショップ



文化庁メディア芸術祭富山展 まちとアートとデザイン ワークショップ

今後のスケジュール（ワークショップ×委員会）

日 時	内 容
11/27（日） 13:00～16:30	第1回ワークショップ オリエンテーション／まち歩きその1「まちと本と図書館」 ／地図に記録する
11/28（月）	第2回検討委員会 「別府の図書館／図書文化」を考える
12/18（日） 13:00～16:30	第2回ワークショップ まち歩きその2「まちとアートと美術館」／地図に記録する ／地図を編集する
12/19（月）	第3回検討委員会 「別府の美術館／芸術文化」を考える
1/22（日） 13:00～16:30	第3回ワークショップ 地図を使ってわたくしたちのまちと図書館・美術館について創造する ／発表
1/23（月）	第4回検討委員会 融合を考える —「図書館と美術館」「文化とまち」「観光と日常」「公と民」等—
3月初旬頃	第5回検討委員会 編集する・まとめる

※検討委員会の開催場所は市役所を予定、開催時間は調整中

※ワークショップのまち歩きは、市役所を拠点として開催予定

「別府市立図書館及び別府市美術館整備基本構想検討委員会」委員名簿

	氏名	所属	備考
1	中山 昭則	別府大学国際経営学部教授	学識経験者
2	中村 佳史	HUMIコンサルティング 代表	学識経験者
3	田中 恒治	元別府大学短期大学部学長	学識経験者
4	鶴田 浩一郎	NPO法人ハットウ・オンパク 代表理事	学識経験者
5	平石 栄二	別府市図書館協議会委員長	図書関係者
6	山出 淳也	BEPPU PROJECT 代表	美術関係者
7	須股 恵美子	大分県教育委員会社会教育課 社会教育主事	社会教育関係者
8	澁谷 千晶	小学校図書館教育主任会推薦者	学校教育関係者
9	池田 祐介	中学校美術科主任会推薦者	学校教育関係者
10	豊田 若菜	別府大学国際経営学部	大学生
11	渡辺 彩加	立命館アジア太平洋大学 アジア太平洋学部	大学生
12	加藤 千明	NPO法人大分研究所	公募市民
13	明石 智子	自営業	公募市民
14	大鶴 史朗	(株)TBSテレビ	公募市民